



農業共済新聞

▶ 全国農業共済協会 (NOSAI全国)

▶ NOSAI トップページ
▶ 新聞 トップページ

検索

NOSAI情報
NOSAIの事業
リスクマネジメント支援
未来を拓く運動
出版物

▶ サイトマップ
▶ 案内図

▶ ヘッドライン掲載一覧
▶ 購読申込&お問い合わせ
▶ 農業共済新聞とは?
▶ 情報提供&ご意見・ご感想
▶ 読者からのあの時この一枚
▶ キラリ! 農家のアイデア
▶ 田んぼに息づく生き物たち
▶ コラム防風林

夫妻で野菜ソムリエ おいしさ伝えたい【群馬支局・2011年4月3週号】

nosai



【群馬支局】前橋市上細井町でキュウリのハウス栽培（30アール・年間70トン）を営む長谷川和俊さん（42）は、妻の恵理子さん（42）とともに、昨年4月、野菜ソムリエ初級資格を取得した。消費者に安全・安心な野菜を提供しようと、農業の使用を極力抑えた栽培方法を実践し、遊休農地を活用した露地野菜作りにも取り組んでいる。

◇ ◇ ◇

「露地野菜を増やし、お客さんと話す機会が増えたので、野菜ソムリエの資格を取得して知識やおいしい食べ方を紹介しながら販売できたらと思った」と話すのは恵理子さん。

長谷川さん夫妻は昨年4月に、野菜ソムリエの初級資格を取得した。昨年の2月に、高崎市で講習会が開催されたことがきっかけで受講。今では市内の直売所などで野菜の素材を生かしたレシピなどを紹介し、消費者との交流に役立っている。また、高崎屋市（マルシェ）では、野菜ソムリエのブース

で野菜などを販売。長谷川さんは「野菜ソムリエの仲間や生産者との交流で、情報交換も盛んにできるようになった」と話す。

露地野菜栽培は2年目で、ネギ（110アール）やタマネギ（35アール）、キャベツ（50アール）などを、従業員1人、県から紹介された研修生1人とともに、全て借り受けた遊休農地で生産している。市場やスーパーなどのほかに、最近、学校給食用にも出荷できることになった。ハウス前には自動販売機を設置し、規格外の野菜を安く販売している。

「これからもお客さんとのコミュニケーションを取りながら、体に良くおいしい野菜を販売していきたい」と長谷川さんは笑顔で話している。

〈写真左：長谷川さん夫妻。恵理子さんは「おいしい食べ方などを紹介しながら販売したい」と話す〉

〈写真右：自動販売機に野菜を補充する長谷川さん〉

《 新聞 トップページへ戻る

《 ヘッドライン掲載一覧へ

《 防風林 見出し一覧へ

NOSAIの事業 | 「信頼のきずな」未来を拓く運動 | リスクマネジメント支援 | 農業共済新聞
 Information | LINK | ENGLISH | IMAGE SONG | 出版物
 コンプライアンス | 個人情報保護方針 | 刊行物の個人情報の取り扱い



全国農業共済協会 Copyright (c) National Agricultural Insurance Association All Rights Reserved.